

おはよう

愛宕山

☆ 発行所 ☆  
『おはよう愛宕山新聞社』  
〒741-0071 ☎Fax31-3383  
岩国市午野谷町3-75-19

郵便振替 01510-0-19089  
おはよう愛宕山新聞社

# 陣第機載艦 とうとう岩国へ移転開始！ 春まどいには入る入の巨大基地に

8月9日長崎舞鶴基地の  
日・お昼の0時過ぎ岩国基  
地の滑走路に4機のE2早期  
警戒機が着陸した。追っ掛

け13時49分もう1機のE2が  
到着し、これで計5機の空  
母艦載機第1陣が岩国基地  
へ移転を完了した。来春に

国の通告から11年  
87%の反対も無視  
の横暴だ。

今から丁度11年前、米軍  
再編計画が決まり厚木基地  
から岩国基地に59機の艦載  
機を移転させると国が通告  
してきた。岩国市民はこれ  
に強く反対し、住民投票で  
87%という「移転反対」の  
意思を示した。

それでも国は庁舎補助金  
の凍結や、色々な策動を押し  
つけた。市民の意識を変化さ  
せてきた。長い時間は市財  
政も防衛省予算抜きではま  
まならない様な行政運営が  
罷り通り、市長の提唱する  
「基地との共存」が定着し  
たように見える最近だ。



空母艦載機の第1陣「E2D 早期警戒機」

は12機の米  
軍機と一カ  
人の米軍関  
係者が揃い、  
極東一の巨  
大基地にな  
る。  
お盆中、  
この基地で  
は飛行自粛  
の取り決め  
も無視し、  
普段以上に  
米軍機が飛  
び回る。こ  
れからの日  
常を暗示さ  
せる。米軍

お盆の飛行自衛も無視し、8月15日の米軍機  
(戸村良人氏撮影)



総重量 263 t の巨大輸送機「C17 グローブマスター」



正式移転前、岩国基地で訓練をする「FA18 スーパーホーネット」

平成29年度の岩国市予算は39億円だが、その中で実に14億円の防衛予算算がタツアリ脱みを効かし市行政を牛耳る。東日本大震災の前、東京電力で潤っていた福島の原発城下町が重なり見えてくる。

連日の報道ではキャンテンホールの様に北朝鮮からのミサイルを急場凌ぎのバツク皿で打ち落とすとか、そんな絵空事が話題になっていく。もしそれが現実になれば、一万人が住む岩国基地が穏やかに納まる話ではない。  
市内に住む米兵やその家族は何か有れば直ぐに本國に帰れるよう、貴重品を詰

めたカバンを枕元に用意しているという話を聞いたことがある。岩国を守ってくれるのでは無く、自分たちが一番なのだ。原発事故の時も、在日米軍の家族は大部分日本から脱出したそう。そんな物騒な街に住む私たちに、心の安全・安心を確保することこそがまず最初の市長の仕事では無かろうか。

こんな怖い基地の存立を協力する為、市民は命まで引き換えに防衛省の補助金を貰うなど迷惑はなしだ。



たむら  
じゅんげんの  
たちはなし

## ザ・シエルター

筆者も参加する「劇団のんた」が30年以上も前から上演している「ザ・シエルター」というお芝居が有る。来るべき核戦争に備えシエルターを売る一家の話で、最後はやつぱり日常が過ぎせる我が家が一番とシエルターを出る話。▼北朝鮮のミサイルがブアムへ飛ぶかと茶の間テレビは連日報道、米朝両国の応酬が少しましい。ミサイルが発射されればテーブルの下に隠れるとか、政府まで本気でその対策を広報する。▼議会で「愛宕山の米軍住宅にシエルターが有るの?」と質問したが、先日完成した住宅の見学会があり筆者も参加した。確かに完成した住宅には各戸にこじんまりした地下室があった。配管用のダクトと説明が有り、中へは2、3人が入れる。▼14日の新聞記事で、米國で販売している核シエルターに日本から注文が急増しているという記事が。いや何とも、33年前に初上演した「ザ・シエルター」が現実の話になってしまふとは。